

# 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年4月7日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691200077
法人名	社会福祉法人 希望ヶ丘福祉会
事業所名	グループホーム みどりの風
所在地	鹿児島県霧島市横川町中ノ5645-1 (電話) 0995-72-9054
自己評価作成日	平成30年3月5日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pccpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pccpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成30年3月21日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

職員一人ひとりが地域の関係性を大切にした支援ができるように、全職員を地域サロンの担当にしている。地域ボランティアや地域イベントにも積極的に参加している。レク担当を決めて、一日の生活がマンネリ化しないように工夫している。小規模多機能ホームと併設しており、利用者様同士が自由に行き来出来る環境にあるため、交流を活発に行っている。季節感を取り入れた行事を意識して実施し、楽しんでいただいている。また、おやつは手作りにこだわっており、利用者様と一緒に作る事もある。ボランティアを積極的に受け入れており、子供たちの福祉体験学習の受け入れにも協力している。敬老会はご家族をお呼びし行っており、食事は職員、家族合同で作っている。認知症の啓蒙活動を地域公民館で講義や寸劇を取り入れて実施している。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は地域活動が活発で、年間を通し職員や利用者が地域といきいきとした交流がある。文化祭への出品・地域のひろばへ参加・どろんこバレー大会・町主催の夏祭に職員がボランティアで参加・小学生や男性合唱団との交流等、地域のイベントに参加したり、ボランティアの受け入れ等、地域との関係性を大切にしている。
- ・利用者の残存機能を活かした取組が多々あり、鹿児島弁カルタ・介護川柳カルタ取り、ころばん体操、餅つき、そば打ち、野菜づくり、花植え、園庭の野菜栽培や収穫、団子作り、味噌作り、職員対利用者ゲーム、手芸・雑巾作り、囲碁等を個々に支援している。
- ・毎月発行される「みどりの風だより」が読みやすく、利用者・家族は楽しみにしている。
- ・職員の頑張りが浸透しており、記念植樹ボランティア、地域マラソンの参加、熊本震災のボランティア派遣、どろんこバレー大会参加、認知症サポーター講師、地域交流会での「認知症劇」等、行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は職員と共に作り、実践に向けて、日々取り組んでいる。毎朝、ミーティングにて理念を復唱している。理念の意味を考えながらケアを行うようにしている。	一度見直しした、地域密着型サービスの意義を踏まえた理念がある。ホールに掲示し、パンフレットにも掲載している。ミーティングの時に唱和し確認している。月毎の職員会議でケアを振り返り、話し合い職員間で共有して実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域の自治会公民館8箇所でサロンを毎月実施している。職員をそれぞれの地域に振り分け、交流ができるようにしている。地域の運動会等にも参加している。	自治会公民館で月1回行われるサロンで交流を図っている。地域の行事の運動会やどろんこ大会・職員参加の駅伝の見物に出かけている。法人の夏祭りには、地域住民の参加も多く、子供達とのふれ合いもある。小・中学生の福祉体験学習や看護学生の実習も受け入れている。野菜等の差し入れもあり日常的に地域と交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域で認知症サポーター養成講座や介護劇を実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回実施している。日々の活動や課題などを報告し、助言して頂いている。</p>	<p>定期的に2ヶ月毎に開催している。利用者の状況・活動報告・ヒヤリハット・外部評価結果等を報告し、資料など提示して意見交換している。出された意見で、ホームの場所が分かりやすいように看板を設置したり、ボランティアで使う掃除用具を備える等、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議や各種連絡会を活用し、定期的に情報交換を行っている。また、市役所の福祉課に出向き、施設の現状を報告し助言を頂いている。</p>	<p>市担当者とは、電話や窓口に出かけて相談する等、日頃から連携をとっている。運営推進会議でも情報交換して助言を貰っている。地域密着型サービス連合会にも加入している。市主催の研修会には積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束の勉強会を行い、身体拘束の禁止となる事例を学び、身体拘束をしない介護を実践している。又、基本的に居室や玄関の施錠は基本的に行っていない。夜間は、玄関の施錠を行っている。</p>	<p>身体拘束委員会があり、マニュアルを作成している。全体の職員会議で勉強会を行い、拘束の具体的な事例を出して話し合い検討している。参加できなかった職員には伝達研修を行い、共有を図っている。言葉についての研修会も行っている。日中は玄関の施錠はせず、職員間で見守りして、拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止の勉強会を行い、職員の意識統一を図っている。ミーティングや日々の業務の中で指導を行っている。言葉の声かけにも注意し自尊心を傷つけないように配慮している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見制度を活用している人はいないが、関連事業所で成年後見制度の対象者がいるため、活用方法を学んでいる。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>利用前に重要事項説明を渡し、項目に沿って、説明をさせて頂いている。疑問点等、その都度、説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者の声や苦情は、真摯に聴くようにしている。運営推進会議の委員の方に、報告させて頂いている。又、職員には朝礼や職員会議にて報告を行っている。</p>	<p>利用者からは昼食後のゆっくりしている時に話しかけ思いを聞いている。家族からは面会が多く、連絡ノートからも意見や要望を聞いている。グループホームの看板設置やケアに関しての意見があり、職員で話し合い運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>管理者は、日々の業務の中やミーティングを通じて職員の意見や提案を聞き、改善できるように努めている。代表者へは定期的に施設での状況は、毎日運営者にも報告している。</p>	<p>ミーティングの時や随時個々人に意見を聞いている。話易い環境があり発言は多く出されている。写真を貼っているピンが危ないので、磁石に変えて対応している。大きな課題は代表者や運営者に状況を報告し検討している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員一人一人が掲げている目標を確認し、職員の能力に応じた助言を行うようにしている。人事考課の評価に応じて昇給もある。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部の研修会や内部の研修会を通じて、資質向上を図る機会を設けている。外部の研修も各職員が参加出来るように配慮している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>霧島市地域密着型サービス事業者連合会等を通じて、交流を深め研修会も企画、実施している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	出来る限り利用者本人と話し、相手の思いや不安を聞くように職員一同心がけている。また話しやすいように居室で話を聞いたりする。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	入所前に家族から利用者の生活歴や家族の要望を聞くようにしている。又、面会時にも、相談を受けるようにしている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	入所前にご家族、サービス事業所からアセスメントし、その人らしい暮らしができるようにしている。当事業所以外のサービスも説明を行っている。		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	職員は、介護者という立場ではなく、共に生活し、支えあう関係を大切にしている。回想法を取り入れ、利用者様の思いを聴くようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者と家族との関係を大切にし、家族と過ごせる時間を大切にしている。家族の方に、夏祭り・敬老会・文化祭に参加していただいている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	出身地区のサロンに参加したり、文化祭や運動会等、地域行事に積極的に参加できるよう配慮している。	馴染みの店に食事や地域のサロンに出かけたり、地域行事の見物や美容室・買い物に家族と行ったりしている。法事で家に帰ったり、地域の知人・友人・家族との関係継続を大切にして支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	行動障害のある方が責められることがあるので、職員はトラブルが起こらないようにその都度、入るようにしている。茶話会を通じてみんなで話し合いの機会を持っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用者様やご家族は地元の方が多く、利用が終了しても遊びに来て下さる。利用終了後も気軽に相談できるように話をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員一人一人から利用者様の思いを拾っている。ご家族からも情報を得ながら本人の思いの代弁をしてもらいケアに活かしている。	日常の関わりの中で、声かけして、動作や表情から推測したり、家族に聞いたりして把握に努めている。帰宅したい思いがあり、一時帰ることもある。困難な場合は、家族と連携をとって本人中心に対応している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用前に面談を通して、生活歴や本人のこだわり等聞くようにしている。利用前のサービス事業所からも情報収集を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日を通しての観察、職員間の引継ぎ、記録の活用等、利用者の状態を把握するように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画書作成は利用前に家族から情報収集を行い、その後は職員から情報収集を行い、計画書を作成している。また、サービス担当者会議等を通して、家族との情報交換を行っている。	本人や家族の意向を把握して、主治医の意見を入れ、担当者会議を開き介護計画を作成している。モニタリングは1ヶ月毎に行い、見直しは短期で6ヶ月、長期は1年で行っている。状況に変化があった時は、その都度見直しして、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>記録は、午前・午後・夜間と分け、時間帯ごとに記録を記入している。日々の様子の記録は介護計画に活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者の状況に応じて、サービス内容を変更し柔軟に対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>協議体の会議で地域資源の情報集を行っている。ボランティアの受け入れを積極的に行い、地域との交流を行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医との関係を大切にし、かかりつけ医と定期的に情報交換に努めている。又、変化がある時はその都度、受診や往診等、対応していただいている。</p>	<p>かかりつけ医は、それぞれ入所の前の医療機関である。通院は家族の協力を得ながら、職員が同行している。歯科は職員が対応している。緊急時には、主治医に状況を話し指示を得て支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	健康状態等についての助言を看護師から受けている。訪問看護からの支援を受けたこともある。隣接する特養等の看護師にも気軽に相談し、連携を持っている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院した際は、医療機関に訪問したり、電話でご家族に病状を確認している。入院前に主治医や家族と退院の可能性を検討し、退院後の受け入れが出来るように調整している。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	重度化や終末期のケアについては、ご家族及びかかりつけ医を交えて話し合いを行っている。事業所でできる限界の話もしている。ご家族の意志が確認できればご家族も一緒にターミナルケアに取り組んでいる。	重度化や終末期に向けた方針は、入居時に本人・家族に説明し同意書を貰っている。状況の変化により、事業所でできることを主治医を交え、家族の意向を確認しながら支援している。特別養護老人ホームに移る利用者もいる。看取りの経験もある。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	看護師を講師にし、訓練を実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災、地震の避難訓練は、夜間想定・日中想定として年2回行っている。地域の方にも声をかけている。水害想定の実施はできていない。</p>	<p>防災マニュアルがある。年2回消防署立ち合いで避難訓練を行っている。2回目は夜間を想定している。避難誘導・避難経路の確認・スプリンクラー・緊急通報装置の設置があり、防災設備の点検も行っている。地域の協力もある。備蓄は水・米・麺類・ラーメン・カセットコンロ等、用意しており、隣接の特別養護老人ホームにも備えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	勉強会を実施し接遇の向上を図っている。利用者は個々の尊厳を大切に言葉掛けや対応を行っている。馴れ合いの関係になりすぎて、言葉が崩れないように注意をしている。	マニュアルがあり、接遇の勉強会を開催している。言葉かけや入室時のノック・入浴・トイレ介助の気配り・申し送りの声の大きさにも配慮し、人格の尊重とプライバシーの確保に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の能力に合わせた対応を行っている。個別に面談して気持ちを汲み取れるようにし、自分で気持ちを表現できない方にも、日頃の生活の様子から思いを汲み取るよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースは大切にしているが、職員側の都合で入浴の時間を変えたりすることがある。行事等の予定が入っている時は事前に説明し、了解していただく。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	季節に応じた洋服を着れるように準備をしたり、声かけを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の食材を取り入れて旬を感じる献立を立てている。食事の下ごしらえやお箸配り、配膳・下膳・お茶碗洗い等、利用者の力を活かしながら、一緒に行っている。	嗜好や形態に気配りしながら、おやつも手づくりで対応している。旬の野菜や果物の差し入れもあり、季節のおせち料理・恵方巻き・花見弁当・そうめん流し・遠足・外食等、楽しみながら支援している。敬老の日は、家族を招待し楽しい時間を過ごしている。利用者は、野菜の下ごしらえ・下膳等、一緒に行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量を記録に残し、食事量が少ない時は栄養補助食品等を出している。水分は一日1500CCの摂取目標に水分を摂取してらもうようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行っている。自力で出来ない利用者には、職員が必要に応じ支援している。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレで出来る方はなるべくトイレでの排泄できるよう支援している。紙オムツやパットも個々の状態に応じたものを使用している。オムツを使用している方には排尿状態に応じて、交換している。	排泄チェック表を活用して、個々のパターンを把握し、時間で誘導し、トイレでの排泄を支援している。リハビリパンツやパット・紙おむつ等、個々に応じた支援をしている。パット使用量が減り改善された事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維のある食事、おやつを提供に心がけ、水分も取って頂く様にしている。又、リハビリ体操も取り入れ、体を動かす機会を作っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は午前に入っていたることが多いが、午後からの入浴にも対応している。入浴は個々の状態に応じて個浴でゆっくりと入れるようにしている。	入浴は週に2~3回、午前中が多く、午後からも可能であり柔軟に対応している。個浴で一人介助で支援している。拒む利用者は介助者を変えたり、時間を変更して声かけしている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼寝は自由にしてもらうようにしている。夜間は就寝時間は設けていない。眠れない方は、リビングにて、職員と会話を持っている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報を基に利用者の薬の把握を行っている。薬の仕分けは職員が交代で、二人で確認しながら、薬剤情報を基に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>能力や生活歴を活かした役割、楽しみが出来るように個別の状況に応じた支援を行なっている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>希望があれば自宅にお連れする。遠足も実施し、遠出もある。春になれば、筍やゼンマイの収穫に出かけることもある。</p>	<p>日常的には周辺の散歩や外気浴をしている。季節ではワラビ採り・ぜんまい・たけのこ掘りで季節を楽しんでいる。計画をたてて初詣・遠足・横川駅のひな祭り等、見物に行っている。外泊する利用者や家族の協力もあり、美容室に出かけたり、地域の行事にも参加している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>預かり金は金庫で管理している。買い物などでお金が必要な時は、本人に渡し、職員と一緒に買い物に出かけている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望に沿って、職員が仲介に入り、家族への電話は自由に出来るようにしている。手紙を出したい方は切手を購入し、自由に手紙のやり取りが出来るようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	部屋の入り口がわからない方には目印をつけている。季節感を感じていただくように、季節の草花を飾っている。居室やトイレのドアの開閉時に音がしていたが、スポンジのクッションをつける工夫をしている。	玄関に季節の作品が飾っておりフロアは広く、採光が柔らかく温度・湿度の調節が適切である。壁には桜の花見風景や行事の写真が飾ってある。椅子やソファが置かれ、畳の部屋もあり、ゆっくりとくつろげる空間があり、居心地よく過ごせるように工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	小規模多機能ホームと併設しているので、気分転換を図りたいときには自由に行けるようになってきている。マッサージ機やソファにもゆったりと座ることが出来るようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた物や写真の持ち込みをしてもらっている。音楽好きの方にはラジカセを持ち込んでもらっている。	居室にはベッドやエアコン・クローゼット・タンスを設置している。寝具はリースであり、家から持ち込まれたラジオや時計・家族写真・位牌等が置かれて、個性があり居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	分からなかったり、失敗しても、決して非難せず、利用者の方が失敗したことを恥ずかしくないようにフォローをしている。自信を失うようなことがないように配慮している。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない